

# 健診医療機関向け緊急連絡サービスシステム「街蛭」の開発

○横井正之\*, 中曽根亜純\*\*, 金井誠\*, 中曽根暁子\*, 加藤敏春\*, 蓮元憲祐\*\*\*

\*株式会社Special Medico, \*\*国際基督教大学教養学部, \*\*\*立命館大学薬学部

## 目的

健診業界では、外部の人材紹介会社を介して、非常勤の医師等の医療スタッフを一時的に雇うことにより、企業等の健康診断を受託している機関が多い。このため、健診当日の遅刻など勤務についての連絡が、3者の間で錯綜することによるトラブルが絶えない。そこで、迅速かつ正確に非常勤の**医療スタッフ**(以下、「医療スタッフ」とする)と医療機関側の**担当スタッフ**(以下、「担当スタッフ」とする)、**紹介会社**との間の情報交換が可能で、かつ簡便で利便性の高い緊急連絡システム「街蛭」の開発を行った。

## 方法

「街蛭」のシステムは次のようなものである。事前準備として、勤務前日までにあらかじめ勤務する医療スタッフ等にメールを送付しておき、当日遅れそうになった場合に、**メール中のURL (Uniform Resource Locator) をタップ**するように通知しておく。当日、このURLをタップすることにより、医療スタッフ側のスマホ等の画面には、健診が行われる**事業場のMAPが表示され医療スタッフのいる位置**が示される。さらに、**渋滞や集合場所不明等の理由、及び近隣のタクシー配車センター**の検索等のボタン表示される。

【図1】 勤務前日までに送信されるメールの例

```

=====
はなまる太郎先生

大変お世話になっております。
3月6日（金）ですと事業所3のご勤務宜しくお願い致します。
ご不明な点がございましたらご連絡いただければ幸いです。
何卒宜しくお願い申し上げます。

業務連絡書を改めてご確認後、以下のURLから「確認済み」ボタンを押下ください。

https://spmedico.com/zenijitsu/8491020581

=====
緊急連絡サービスURL
https://spmedico.com/kinkyu/8491020581
=====
    
```

【図2】 スマホに表示される画面の例



## 結果

電話又はメール等による紹介会社等への勤務当日の問い合わせは、導入前では全案件2084件中246件で11.8%であった。これに対し、導入後では2361件中1件と0.04%までに激減した。また問い合わせ以外の「街蛭」稼働率は1.4%であった。

【表1】 システム導入前後の紹介会社への問い合わせ数

年月	案件総数	問い合わせ数	「街蛭」稼働数
導入前 (2017. 3)	2084件	246件 (11.8%)	—
導入後 (2018. 3)	2361件	1件 (0.04%)	32件 (1.4%)

## 考察

「街蛭」の導入により、問い合わせ件数が激減する結果を得たが、背景には機能以外の理由も考えられた。

- 1) システム稼働の前提として、勤務の前日に確認メールで送っている。派遣される医療スタッフが確認した場合、URLをタップすることになっており、担当スタッフにもわかるようになっている。このため、**医療スタッフ自身の意識づけが確実にできる**だけでなく、翌日の仕事について医療スタッフが認識していることを、**担当スタッフと共有**できており、その**安心感**により問い合わせが減少したと考えられる。
- 2) 連絡手段が簡易であるため、遅刻時には必ず連絡しなければならないという**義務感**が**医療スタッフ**に生じ、早めに到着するなどの**動機づけ**となり、遅刻そのものが減った可能性が考えられる。

「街蛭」は**アプリのインストールの必要のない簡便な位置通知システム**であり、今後、天頂衛星「みちびき」のGPSシステムが利用できるようになれば、例えばツアーの集合場所への遅刻や災害時の避難者の人数把握、緊急時の医療スタッフの数や場所確認など、特に一時的な利用でのさらに広い分野での活用が考えられる。なお、「街蛭」は特許登録されている。(特許番号 No. 6152521号)

筆頭演者の開示すべき利益相反: 横井正之 株式会社Special Medico 取締役